

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第3回研修を開催しました！」

第3回の研修は、令和5年5月12日(金)、13日(土)に雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義では、肥料の要素や種類、施用方法などの肥料全般の説明と、マルチフィルムの効果や種類、使い分けについて学ぶ内容でした。

また、じゃがいもとトマトの栽培方法についての講義も行いました。

受講生からは、「施肥を忘れた場合、どのような影響があるのか」、「種いもはスーパーで売っている食用のものでも代用できるのか」などの質問がありました。

実習では、じゃがいもの植付けと、トマトの定植を行いました。

じゃがいもの植付けでは、前回(さといも)と同様に植付け場所に計量した肥料を散布し、土壌混和したのちに畝立てを行い、種いもを

植付けました。畦立ては1度経験したことから作業にも少し慣れてきたようでした。

次にパイプハウスへ移動し、ハウス内で使用している自動かん水装置と栽培方法(隔離床栽培)について説明しました。トマトの定植では、苗を仮支柱へ紐で誘引する作業が難しそうでしたが、作業するごとにコツをつかんだようでした。日中の気温が上がる時間で、体力的に大変な時間でしたが、協力しながら、無事に2日間で約170本の定植作業が終わりました。

第4回の研修は、5月19日(金)、20日(土)に、外部講師による「鳥獣害対策、電気牧柵の設置について」、実習では「電気牧柵の設置」と「ピーマンの定植」を行います。



種いもを手に取り観察する受講生



じゃがいもの植付けの様子



トマトの定植の様子



トマト苗を仮支柱へ誘引する受講生